This Page Is Inserted by IFW Operations and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning documents will not correct images, please do not report the images to the Image Problems Mailbox.

EUROPEAN PATENT OFFICE

Patent Abstracts of Japan

PUBLICATION NUMBER

58214793

PUBLICATION DATE

14-12-83

APPLICATION DATE

09-06-82

APPLICATION NUMBER

57098903

APPLICANT:

MITSUBISHI ELECTRIC CORP;

INVENTOR: KAWAHIRA HIROTO;

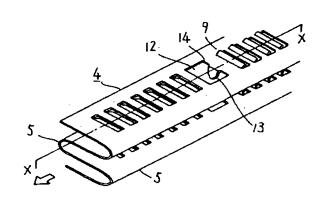
INT.CL.

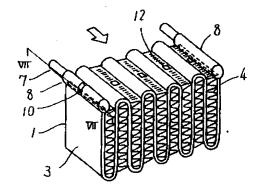
F28F 1/30 F25B 39/02 F28D 1/04 //

F28D 9/00

TITLE

HEAT EXCHANGER





ABSTRACT:

PURPOSE: To improve the heat exchanging property of an evaporator remarkably by means of lowering the refrigerant evaporating temperature at the air inlet side lower than that at the outlet side and improving the dripping capacity of condensed water by a method wherein a contracted part is formed on a part of the inlet side header and the holes draining the condensed water are provided on a part of the corrugated fin coinciding with the contracted part.

CONSTITUTION: A refrigerant is led to an inlet side header 6 from a refrigerant inlet side pipe 7 with the pressure thereof reduced down to around 0.2~0.5kg/ cm² due to the contracted part 10 passing through a porous refrigerant channel 2 in a flat pipe 3 winding the way to an outlet side header 8. Therefore the temperatures in the flat pipe 3 before the contracted part 10 is naturally around 5 degrees lower than that after the contracted part 10. The condensed water adhering to the fins 4 is led by a tongue piece 13 from a hole 12 for draining the condensed water downward to be drained. Besides any water drips of condensed water to be flowed away by wind may be prevented from being flowed backward since they are held by the tongue piece 13.

COPYRIGHT: (C)1983,JPO&Japio

(19) 日本国特許庁 (IP)

①特許出願公開

⑩公開特許公報(A)

昭58—214793

௵Int. Cl.³	識別記号	庁内整理番号	❸公開 昭和58年(1983)12月14日	ı
F 28 F 1/30		7820—3 L		
F 25 B 39/02		7613-3L	発明の数 1	
F 28 D 1/04		8013-3L	審査請求 未請求	
// F 28 D 9/00		6808-3L		
			(全 4 頁))

匈熱交換器

②特 願 昭57-98903

20出 願 昭57(1982)6月9日

@発 明 者 西沢敏造

静岡市小鹿三丁目18番1号三菱 電機株式会社静岡製作所内

@発 明 者 居崎桂

静岡市小鹿三丁目18番1号三菱

電機株式会社静岡製作所内

⑫発 明 者 川平裕人

静岡市小鹿三丁目18番1号三菱 電機株式会社静岡製作所内

⑪出 願 人 三菱電機株式会社

東京都千代田区丸の内2丁目2

番3号

個代 理 人 弁理士 葛野信一 外1名

明 組 啓

1. 発明の名称

熱交換器

2 特許請求の範囲

(1) 内部に多孔の冷媒通路を形成した偏平管を蛇行形状に成形し,冷媒通路と直角に設置された入口側へツダーを上配入口部に接合し,かつ上記出口部にも出口側へツダーを接合し,偏平管相互間にコルゲートフインを介在させた熱交換器において,入口側へツダーの断面積を一部分のみ狭少せしめ絞り部を形成し,かつ,コルゲートフインの一部に凝縮水を排水させる穴を,上配入口側へツダーの絞り部と合致する位置にもうけたことを特徴とする熱交換器。

(2) 凝縮水を排出させる穴はエア流れ方向の前 緑部にて舌状に下方へ折り曲げた舌片が上下方向 に連続的に連なる事を特徴とする特許請求の範囲 第1項配収の熱交換器。

(3) 模縮水排水穴よりエア流れ方向前部にあるコルゲートフインのルーパーの切り起し角度は.

展縮水排水穴よりエア流れ方向後部にあるコルゲートフインのルーパーの切り起し角度より小さい 事を特徴とする特許請求の範囲第1項配載の熱交換器。

3. 発明の詳細な説明

本発明は熱交換器に係り,特に熱交換率を向上 させることを目的としたものである。

自動車用空気調和機あるいは冷凍装置の熱交換器において,空気側の伝熱面膜の増大をはかるために,空気側のフインとしてコルゲートフインを用いた積層形熱交換器が知られている。

一般的な代表例として,第1図および第2図に示すように偏平管(3)を蛇行状に曲折させ直管部は一定間隔を有して複数本平行に並設され,この平行偏平管(3)相互間にコルゲートフイン(4)を介在させている。上配の熱交換器(1)は偏平管(3)の多孔冷鉄通路(2)に冷鉄が流れコルゲートフイン(4)群の間を空気が流れ空気と冷鉄の熱交換はコルゲートフィン(4)を介して行つている。冷鉄は入口側へツダーより偏平管の多孔冷鉄通路を通り出口側へツダーより偏平管の多孔冷鉄通路を通り出口側へツダ

一郎に流れる。

この場合に熱交換器に要望されることは熱交換 効率を更に向上させる事であり、コルゲートフインにルーパーを形成したものが提案されている。

第3凶,第4凶はフイン形状の一例を示し,コルゲートフイン(4)の表面を空気流通方向でに直交方向に複数個の切込みを入れ,切込み細片を斜めにルーパー状に起しルーパー(9)の前線にて流通空気の境界層を切断する効果により伝熱特性を向上させている。

上記の構造の熱交換器は,湿熱交換を行う空調用の冷却器にも使用されているが,除湿を行つた場合,第 5 図に示すように水平方向に平行なフィン(4)群の間に凝縮水がブリッジを超んだり半円形状に滞留し,凝縮水のスムーズな流出が不可能である。このため,流入空気の通路が妨げられ流入空気量の低下に供う熱交換特性が低下する。また,フィンに付着する疑縮水により,フィンと空気間の熱伝達特性が低下することにより,熱交換特性が低下するという欠点があつた。更に,蒸発器内

(4) には空気流通方向(C)と直交する方向に多数の切込みを入れ、切り込み細片を、第9図に示すように起こしてルーパー(B)を形成させている。 更解 がいっち ではかある。 穴はの位置は、入 発 は 口 が から同じ位置にもうけられている。 また は い の の の の に で は の で は の で は の で は の で が あ り 、 舌片 は は に 近接する 長さである。 ルーパー(B) の 切り の は が に 近接する 長さである。 ルーパー(B) の 切り に 近 接 が は に で 空 気 流 通 方向 に の よ り 、 後方の方が大きくしている。

上記構造の熱交換器の作用について説明すると, 膨張弁や毛細管(いずれも図示されていない)に より減圧された液冷媒は,冷媒入口パイプのより 入口側へツダー(6)に導入される,入口側へツダ(6) には絞り部間が設置されているので,絞り部間よ り後方へ流れる液冷媒は,絞り部間の効果により 校り部間の前方に流れる液冷媒より 0.2 ~ 0.5 kg /cm² 0 程度減圧される。 の冷媒の蒸発温度を低くして,熱交換特性を増加 させることは凝縮水の凍結の問題があり,不可能 であつた。

本発明は熱交換器の冷媒蒸発温度を空気入口側より出口側にて下げ、かつ、凝縮水の水切り性能を改善して、蒸発器の熱交換特性を大幅に向上させる事を目的としたものである。

以下第6図ないし第8図に示す実施例において本発明を詳細に説明すると、内部に多孔の冷媒通路(2)を形成した偏平管(3)を蛇行状に成形し、偏平管(3)の直管部は一定間隔を有して複数本平行に並設され、この偏平管(3)の直管部相互間にはコルゲートフイン(4)が折曲部(5)を偏平管(3)にハンダ付されている。偏平管(3)の入口は冷媒通路(2)方向と直交して入口側へツダー(6)が設置されており、入口側へツダー(6)には冷媒入口パイプ(7)が接続されている。また偏平管(3)の出口部には冷媒通路(2)方向と直交して出口側へツダー(6)が詳趣されている。入口側へツダー(6)は、断面積を1部狭少せしめた絞り部00がもうけられている。コルゲートフィン

これらの液冷媒は偏平管(3)内の多孔の冷媒通路。 (2)を通り、蛇行しながら出口側へツダー(8)に導び かれる。由に,絞り節如の前後において偏平管③ の温度は約5 deg 異り、前方より後方の方が当然 温度が低い状態である。蒸発器(1)に流通する空気 はルーパー(9)群をもうけたコルゲートフイン(4)に より除湿,冷却され,フイン(4)に付着した凝縮水 は凝縮水排出用の穴口より舌片口に案内されて下 方へ排出される。また風速により飛び去ろうとす る炭縮水の水滴は,舌片はなより保持されて排水 穴似より後方へ流れて行くのを防止されている。 大巾に除湿された空気は排水穴四以後において。 蒸発温度の更に低い液冷媒と熱交換して,蒸発器 (1)より外へ旋通する。またルーパー(9)の切り起し 角度 8 09 を , 排出穴 02 より後方部は前部より大き くしているので,流通空気の境界層を大きく切断 している。

本発明の特性を第11図により説明すると,空 気流通の上流側にて特に除湿,冷却作用を行い。 除湿された凝細水は凝縮排水穴より下方に排出し。

特别昭58-214793(3)

空気が通の下流側にて更に低い蒸発温度による熱交換で冷却作用を行う。そして蒸発器の空気入口を×とし、軽縮水排出穴部を×、空気出口部を2とすると、×・Y間にては空気は除湿、冷却され、 緩縮水が排出される。更に×・2にては、蒸発温度が低下しているので従来に比べて空気との温度 差が大きくなり冷却効果が増大する。また凝縮水 もコルゲートフイン間に滞留しないため、空気抵抗も少なくなり熱交換量が増大する。入口空気と 出口空気の温度差は従来は△T」であり本発明によると△T2となる。

本発明は以上に述べたように構成されているから,従来の熱交換器では果し得なかつた除湿を伴なう用途に本発明による蒸発器とすることにより蒸発温度を更に下げて使用でき,本発明の目的である製品の軽量化・小形化を極めて容易に達成できることはもちろん,熱交換効率を大幅に向上させる等,本発明による利益は多大なものがある。 4 図面の簡単な説明

第1図は従来の蒸発器の斜視図,第2図は第1

図の 8-8 断面図、第3図は従来の蒸発器の要部 州視図、第4図は従来のコルゲートフインの斜視 図、第5図は従来のコルゲートフイン間の水阀付 着状態図、第6図は本発明による蒸発器の斜視図、 第7図は第6図におけるM-M断面図、第8図は 本発明による要部斜視図、第8図は本発明による 要部を拡大した斜視図、第10図は第9図のX-X断面図、第11図は本発明による蒸発器等性図 である。

図中间一符号は同一または相当部分を示し、(1) は蒸発器,(2)は冷鉄通路,(3)は偏平管,(4)はコル ゲートフイン、(6)は入口傾へツダー、(8)は出口倒 ヘツダー、(9)はルーパー、00は絞り部、02は穴、 03は舌片、04は前縁部、93は切起し角度 & である。

代理人 萬 對 信 一

